



発行：まつや清を応援する会 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A TEL:054-209-5677

Mail:chikyū_house@yahoo.co.jp

静岡市議会 企業消防委員会 デジタル社会推進特別委員会 静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長



市長・議員の期末手当引上げ反対！ 引き上げ分は法務局に供託 期末手当も特別職等報酬審議会の対象とする条例改正を実現！



HP
議会報告

物価高騰、最低賃金引上げの中、賃上げがある人・ない人の格差が広がっています。首相や国会議員の報酬は歳費法、市長や議員の給料・報酬は特別職等報酬審議会で諮問され、その答申を受けて議会に提案されます。国会議員は「政治とカネ」が問題視されると共に政治不信が広がり、報酬・期末手当を引き上げなしとなりました。ところが、静岡市は特別職等報酬審議会を開催せず、市長・議員の期末手当を人事委員会勧告にあわせて引き上げました。まつやは、2016年から期末手当の引き上げを新潟市や浜松市のように、報酬等審議会条例の諮問対象にすべきと条例改正を訴え続けてきました。12月議会最終日、人事委員会には「引き上げ勧告は、市長・議員を対象としていない」ということを確認し、総務局長からは、「条例改正を実施」という答弁を引き出しました。まつやは、議会ですべて一人、市長・議員の両方の期末手当に反対をしました。

2025年度静岡市予算編成に関する7項目の要望書を提出

国政選挙において「自公政権」の過半数割れとなり、「熟議と対話」の政治が始まりました。一方で自治法が改正され、自治事務にまで国の指示権が広がり憂慮すべき事態です。国の議院内閣制と異なる地方の二代表制において市長と議会(議員)は対等であり、多数会派中心の議会運営は自治体議会になじみません。公の場での市長と議会(議員)の徹底対話、議決における議員間の徹底討論という政治文化こそが自治・分権・分散型社会を形づくります。

2024年度に続き、「全ての施策に脱炭素社会の視点」、「あらゆる災害に対応できる安全・安心社会」など、7点について難波市長に要望しました。特に、2025年は能登半島地震・豪雨災害から1年、阪神淡路大震災から30年、東日本大震災から14年になります。避難所運営における『人道憲章と人道支援における最低基準』=スフィア原則を強く要望しました。



市議会太鼓サークル 能登半島災害のチャリティー公演会で演奏

静岡和太鼓連合代表の法月慶満さんの「今なお復旧・復興の目処がつかない能登半島の方々へ支援を」という呼びかけで、1月5日、和太鼓公演会(於市民文化会館)が開催されました。市議会太鼓サークル(市議会超党派の32名の会員・まつやは事務局長)からは有志11人が参加しました。久方の演奏で筋肉痛に襲われましたが、催しは盛り上がりで大成功でした。



城北から 難波市長と城北学区の防災を語る会

緊急的な水害対策への想い 市長に伝わる

主催 難波市長と城北学区選出の議員と語る会・実行委員会

10月28日、110名を越える参加のもと「難波市長と城北学区の防災を語る会」が開催されました。市長の「麻機遊水整備など大きな対策と共に、すぐに効果の出るきめ細やかな対策」への意欲は大変期待が持てるものであり、語る会で集められた要望に市の対応が進んでいます。あさはた緑地センター長の木下聡さんから要望があった、外来種「ナガエツルノゲイトウ」の駆除については、12月20日、市長が陣頭指揮をとり静岡市、環境団体や市民が参加し実施されました。

その他にも、大雨時の「道路の冠水」、「下水管からの雨水の逆流」についての要望が提出されています。地域の皆様の声を吸い上げ、行政・政治の場に届ける議員活動の大切さを改めて実感しました。

10/28 防災を語る会



12/20 駆除活動(市長とまつや)



ナガエツルノゲイトウ





**選択的夫婦別姓の法制化に向け
「夫婦別姓(松谷は旧姓)」、「主夫」40年の経験もとに質問**

パートナーから「高島姓を続けたい」という提案に、葛藤するも「尊重しよう」と、妻方姓に入籍し40年が過ぎました。国連女性差別撤廃委員会から「選択的夫婦別姓」法制化の勧告があり、NHK世論調査でも62%が賛成でした。経団連も政府に推進の要望をしています。国政では大半の政党は推進の立場ですが、自民党の反対により法制化は変わりません。そこで、静岡市男女共同参画行動計画に「選択的夫婦別姓制度の導入を位置づけるべきではないか」と質問をしました。答弁は、「必要があれば検討していく」でした。「パートナーシップ宣誓制度」についても質問しました。
(詳細は、下記QRから) 因みに、市職員の旧姓使用者数は、2009年は女性のみで42名、2024年は女性192人、男性9人で、5倍という大きな変化です。

**アリーナ建設 公共事業の事業費高騰
難波市長の「アリーナ構想」は支持・調査費に賛成
建設費300億のうち市負担の明確化後、賛否明らかにしたい**

アリーナ建設・運営は「BTコンセッション」方式で民間が建設し、開業時に建物を市が買い戻すことになっています。300億円の内訳は、「民間が収益を見込み運営権対価+民間の寄付+補助金+交付金+市の負担金」との説明です。市の財政事情は極めて厳しい現状です。質問は「難波市長は、南アルプスにも登山をされますが、登山する方々の鉄則は、気候・健康などの不測の事態においては、下山する勇氣、覚悟を持っているということです。市の負担が大幅に増加した場合、アリーナ事業から撤退する覚悟があるのか」の質問に。市長は、「誰も運営者がいなくなったら撤退する。当たり前だ」と、質問に明確に答えてはいたませんが、「撤退」が選択肢にあることを確認できたことは良かったです。

**コロナワクチン「努力義務なし有料接種」事業への質疑
(自己負担3250円、一部公費負担)**

これまでの mRNA コロナワクチン副反応救済申請は55件、うち死亡は6件
昨年5月にコロナ感染症は2類から5類に移行し、ワクチン接種は10月から有料になりました。そこで、それまでの mRNA コロナワクチンについて、①ワクチンの効果、②副反応の実情、③10月からのワクチン接種の位置づけ、④mRNA レプリコワクチンの安全性、⑤健康被害救済制度、⑥mRNA コロナワクチンの副反応・効果など有料接種の周知方法について質疑しました。答弁など詳細はHPへ(QRコードから)。
因みに、救済申請は55件。死亡6件、疾病に関するもの49件。55件の中で認定30件、否認9件、審査中12件、審査前4件でした。
死亡については認定1件、否認1件、審査中4件。有料接種では副反応死亡一時金は、4500万から780万(生計維持者でない場合)に引き下げとなります。



**南アルプス蛇抜沢遡行調査の動画記録を公表
静岡県副知事へ JR 東海による沢の遡行調査と
高速長尺先進ボーリングのやり直しを求める**

南アルプスとリニアを考える市民ネットワークの服部隆さんが呼びかけた山岳グループは、南アルプスのすばらしさを多くの人たちに伝えたいと、7月に蛇抜沢の遡行調査を実施し、その記録動画を公表しました。まつや清は9月30日の静岡市議会総括質問でリニア市協議会での視聴を約束させ、11月18日市協議会で専門委員によりその動画が視聴されました。増沢武弘市協議会会長からは、「よく行ってくれた」と感想をいただきました。12月17日、南アルプス市民ネットと62万人運動は、中央新幹線対策本部長・森副知事に、JR東海による沢の遡行調査と高速長尺先進ボーリングのやり直しを求める要望書を提出しました。17日夜の県の地質構造・水資源専門部会では、市民グループと同じ姿勢を示し、先進杭工事は県境300mまでとし、コアボーリング含めて高速長尺ボーリングはやり直しとなりました。そして、JR東海は12月23日市民グループとの面談で、これまでの「ドローン」、「衛星画像」による調査から沢現地に入る遡行調査を実施すると回答しました。市民・住民の運動は「二歩後退一歩前進」しました。今後に期待します。

気候変動 ゲリラ豪雨と猛暑

「気候災害」ととらえて9月議会で総括質問

<延岡市の先進事例、避難行動要支援者個別計画を参考に>

静岡市の自主防災組織への名簿提供に同意している高齢者や障がい者は、4万3000人ですが、2021年2022年で避難行動計画が作成されているのは68人だけです。地域総務課が把握する900の自主防災組織うち、553の自主防災組織で自主防災計画資料に要支援者訓練を取り入れています。実情と課題について質問しようとしたが、市内榎島で崩落事故が発生し、危機管理局が答弁準備できなかったことから、質問は持ち越しとなりました。福祉部門と危機管理部門が連携することだけは確認できました。

**<熱中症の救急搬送者の実情と生活保護世帯でのエアコン購入費や
夏季加算について>**

熱中症による救急搬送者は、2021年が187人(死亡1人)、2022年が266人(死亡2人)、2023年が314人(死亡4人)と増加の一途です。イギリスでは可処分所得に占める光熱費が10%以上の世帯を「エネルギー貧困世帯」と規定し、光熱費補助・住宅の断熱改修・省エネアドバイスを推進しています。総括質問に対して、「エネルギー貧困世帯を地球温暖化対策実行計画に位置づける考えはない、生活保護世帯において熱中症など健康被害の予防は大切であり、夏季加算の創設については国に要望する」との答弁を得ました。

**議会改革 まつやの質問回数 市議会で断トツ1位
4年間で29回**

常任委員会の様子を市民に知らせるために live 中継を!

10月8日付静岡新聞「静岡市議会 改選まで半年 進め改革」記事の問題提起は秀逸でした。市政に関心のある方もない方も一度、本会議や常任委員会を傍聴してください。本会議は live 中継をやっています。常任委員会はやっていません。まつや清が所属する企業消防委員会では、議案審査に「その質問は議案のどこに関係しているのか」など審議を深めたい議員の質問を抑えようとする場面があります。委員会に係る第三者機関や国・県・他都市の動向・マスコミ報道・納税者の意見など幅広く審議する必要があります。常任委員会の live 中継設備にそれほど財源はかかりません。そうした議会の状況を10月8日付静岡新聞は丁寧に調査し問題点を指摘しています。(記事はQRコードから)

記事には、本会議における総括質問の回数が公表されています。しかし、臨時議会、追加議案などとも質問をすることは可能です。まつや清の質問回数は4年間で29回に及び、市議会で断トツNo.1です。



**オーガニック学校給食を推進
有機野菜葵区・駿河区、有機米清水区で導入**

難波市長のリーダーシップのもと、有機農業生産者とオーガニック給食推進市民グループ、農業政策課と学校給食課の連携を促した、まつや清の議会活動などにより、昨年にオーガニック給食が部分的に実現されました。12月10日、会派緑の党は2025年度予算編成要望において、難波市長にオーガニック給食において圧倒的に不足する有機食材の生産とその調達について見解を述べることができました。12月12日には、農業政策課による静岡市グリーン農業フォーラムが開催され、現況と課題、有機農業実施計画が示されました。

農水省が提唱する「みどりの食糧システム戦略」(持続可能な食糧システム)という施策が有機農業の生産者拡大計画を新規農業者をも巻き込む形で推進されていく必要があります。

**市の突然の城北公園アンケート調査と説明会に参加して
8割が再整備賛成、説明会に参加した80名の大半は反対**

10月21日から11月22日までに実施された「城北公園の再整備について」のアンケート調査の中で、駐車場・カフェ設置案については、8割が「賛成」というものでした。回答者は2774件(内、安東地区住人1307件)

ところが、12月14日の説明会参加者の9割は反対・慎重で、アンケートの作り方が誘導的、駐車場が必要だとしても公園の外に作るべきという批判の声があがりました。市のホームページには、寄せられたすべての意見が公表されていますのでご覧ください。

市はアンケートで提示した公園構想を現段階でそのまま進めるわけではないとして、今後、懇談会を設置し城北公園の在り方を協議するとしています。懇談会のメンバーやファシリテータをどのように選ぶかによっては、公園整備の方向性は変わってきます。意見の違いはどこにあるのか、駐車場は公園外に作ることはできないのかなど、懇談会の開催を重ねて、合意のプロセスを丁寧に進めていく必要があると考えています。



写真で見る
まつや清
活動の
日々



9月20日 ●気候危機自治体議員の会呼びかけ「全世界同時アクション」に参加



10月29日、30日 ●デジタル社会推進特別委員会視察(仙台・渋谷)



11月3日 ●大道芸ワールドカップ 天使の羽・清掃ボランティア



12月7日 ●きよしとこの夜(まつやきよしを応援する会主催)年末のパーティー



12月11日 ●311を忘れない in しずおか 福島の子どものための街頭募金活動



1月5日 ●中央卸売市場で新春恒例の初競り



人を幸せに まつや清を応援する会 事務局長・弁護士 増本雅敏さん



人を幸せにするために汗をかく。政治を志そうとする者は、すべてそうでなくてはならない。政治を志さなくても、それは家族であったり、親戚のおじちゃん、おばちゃんであったり、遠く異国の空の下、理不尽な暴力にさらされて泣いている人であったり、もちろん自分自身を含めて、この世界に暮らすすべての人々のために、泣いたり笑ったり、その幸せを願って、やはり、汗をかくのだと思う。どこまで出来て、どこまで来たのか。道半ばであっても、止まることはない。頑張れ、まつや清くん！

2024年9月議会 2023年度決算審査

マイナカード推進・マイナ保険証登録 実施・(仮称)海洋・地球総合ミュージアム事業に反対！

田辺市政の第4次総合計画を引き継ぐとしながらも、難波市長のスピード感・独自性あふれる施策が展開されました。2023年の決算審査でまつや清は、①農と食、オーガニックビレッジ宣言への準備 ②上土団地建設などのPFI事業の中止 ③三保地区でのPFAS汚染への対応 ④リニア問題への科学的工学的観点の堅持、⑤呉服町消防火災事故への対応については高く評価しますが、次の2点の事業分野については反対しました。

一つ目は、個人情報・国家的管理につながるマイナンバーカードの推進やマイナ保険証登録事業についてです。ただ、反対世論を受けて5年は紙の保険証は存続されることになっています。

二つ目は、総額240億円にも及ぶ、(仮称)海洋・地球総合ミュージアムPFI事業です。東海大学との魚種選定巡る対立で、建設が1年も遅れ、更に物価高騰など契約額の変更の可能性があります。収益減少の場合には、市が半額負担するというロスシェアも含むPFI手法に疑問があり、規模を縮小して直営を検討すべきです。

上下水道消防委員会(まつや所属) 9月議会、11月議会ともに議案に賛成！

＜上下水道局＞ 昨年1月の能登半島地震による上下水道の被災支援の中から病院・区役所・消防署など重要施設に繋がる水道管・下水管の老朽化対策・耐震化対策を優先する見直しが11月議会の大きな議題となりました。

＜消防局＞ 決算審査では、2022年8月の呉服町火災をめぐる消防隊員の殉職について取り上げ、2023年8月の事故調査委員会報告、24年2月の行政検証結果を踏まえて、「安全管理」、「行動規範の実効性」、「指揮体制」、「組織風土」について質疑をしました。殉職者家族に寄り添い、隊員のメンタルヘルスを大切にしていくことが重要です。

江川町交差点に横断歩道が完成！ ウオーカブルでバリアフリーな街の実現へ！

議員活動を始めたころから今日まで、車いすや乳母車の方々に優しいバリアフリーの観点、そして、車社会から歩行者優先の交通体系、公共交通充実の観点から、歩いて楽しい街づくり実現に向けて、度々議会質問で取り上げてきたテーマです。そして、今般やつと江川町交差点に横断歩道が実現しました。長年の懸案が解消され、うれしい限りです。



静岡市街地 江川町交差点 (赤色の部分 手前方向がセノバ)

マラソントレーニング
まつやの体幹確認 ポーズ

城北事務所を開設しました。

まつや清を応援する会 城北事務所

〒420-0881 静岡市葵区北安東 4-24-17

しずてつジャストライン 県立総合病院入口下車

バス停前

電話 054-209-5677 FAX 054-209-5675

※駐車場 2台あり

事務所 map



城北事務所前で

イベント情報

●2月22日(土)14:00~16:00 市政報告会
「市民が政治を変える！ 地方から政治を変える！」

会場:もくせい会館(静岡市葵区鷹匠 3-6-1)

特別ゲスト:阿部知子さん(衆議院議員) ※予定

イベント情報

●3月9日(日) 静岡マラソン 2025
8:20 市役所前スタート

10:10 静岡市中央体育館前フィニッシュ
まつや清は「ファンラン(11.6km)」に出場
応援をお願いします。



会期 2月10日~3月6日 25日間

2/10 本会議 会期決定・議案上程・説明

2/17 2/18 2/19 2/20 本会議 総括質問

2/25 2/26 総務・企業消防・市民環境委員会

2/27 2/28 厚生・観光文化経済・都市建設委員会

3/6 本会議 議案上程・委員会報告・質疑・討議・評決



1951年 新潟県柏崎市生まれ 静岡大学工学部中退
1987年 静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員(4期)

●問合せ先: 電話:054-209-5677 FAX:054-209-5675
まつや清を応援する会 (月)・(水)・(金) 9:30~16:00